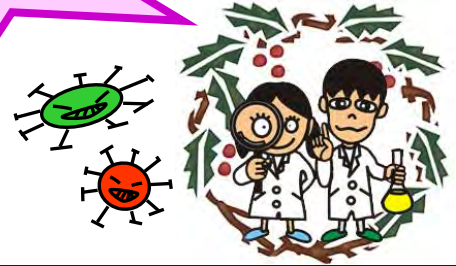
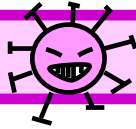


感染症に気をつけよう!

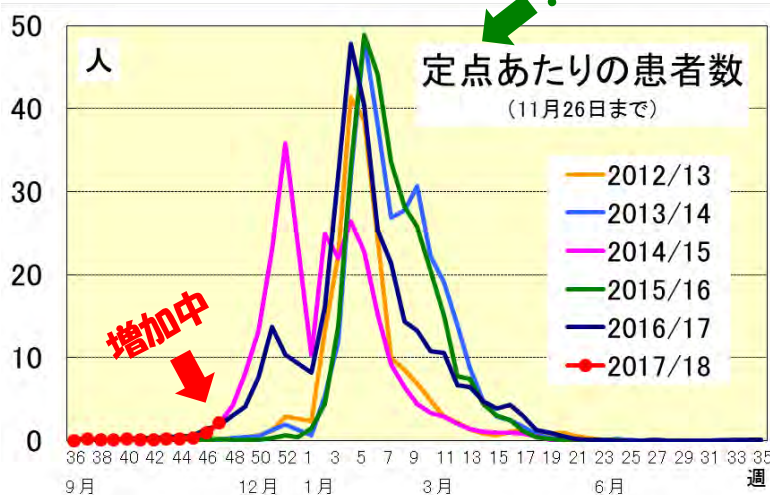
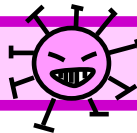
2017年【12月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
インフルエンザ	流行	増加	11月中旬に 流行期 に入りました。例年、1月頃に流行警報が発令されています。【'17.11号】
感染性胃腸炎	多発	やや増加	やや増加傾向です。一年を通して発生していますが、特に冬に流行します。【'16.12号】【 ちらし 】
伝染性紅斑 (リンゴ病)	多発	やや増加	11月初め頃から、増えて来ました。過去10年では、数年ごとに流行がみられます。【'14.6号】

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- **定点**とは、毎週、患者数を報告していただく医療機関のことで、インフルエンザの場合は市内に153か所あります。
- そこから報告された患者数の平均が、**定点あたりの患者数**です。この数値を用いて、流行状況を把握しています。

- **インフルエンザ**は普通の風邪と違います。38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・全身倦怠感などの症状が、急に出るのが特徴です。
- 重症になる例もみられ、**十分な注意が必要**です。



- **予防の基本**は、**正しい手洗い**の習慣です。
- かかったかな!と思ったら、**咳エチケット**を守り早目に受診してください。重症化を防ぐため、また、他の人にうつさないためにも、無理をせず学校や仕事は休みましょう。

